

五泉市総合評価方式試行要領の運用基準

第1 趣旨

この基準は、五泉市総合評価方式試行要領（以下「試行要領」という。）に定めるもののほか、五泉市が発注する建設工事における総合評価方式の運用に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2 工事の選定の目安

総合評価方式による工事は、試行要領第5の第1項の基準と併せ、それぞれ次の工事金額（設計額）の範囲から選定するものとする。

- (1) 実績確認型 概ね10,000千円以上概ね120,000千円未満の工事
- (2) 施工計画確認型 概ね10,000千円以上概ね300,000千円未満の工事
- (3) 技術評価型又は高度技術提案型・概ね10,000千円以上の工事

第3 加算点、評価項目及び評価基準

- 1 加算点の上限は、実績確認型は19.0点、施工計画確認型は24.0点、技術評価型又は高度技術提案型は31.0点を標準とするものとする。
- 2 評価項目及び評価基準については、次の(1)～(3)及び別紙「評価項目及び評価基準の細目等」によるものとする。
 - (1) 実績確認型を適用する工事
別表1の評価項目及び評価基準を標準とするものとする。
 - (2) 施工計画確認型を適用する工事
別表2の評価項目及び評価基準を標準とするものとする。
 - (3) 技術評価型又は高度技術提案型を適用する工事
別表3の評価項目及び評価基準を標準とするものとする。
- 3 前項の評価項目及び評価基準に基づいて算定した点数（以下「評点」という。）の合計を加算点とするものとする。
- 4 市長は、加算点の上限、評価項目及び評価基準について、工事の種類、入札参加要件、地域特性等に応じて変更できるものとする。

第4 技術資料及び技術提案の提出様式

- 1 入札参加希望者等に提出を求める技術資料及び技術提案の様式は、次によるものとする。
 - (1) 技術資料
 - ①「企業の技術力・地域性確認資料」 第1号様式
 - ②「配置予定技術者の能力確認資料」 第1号様式
 - ③「簡易な施工計画」 第2号様式
 - (2) 技術提案
 - ①「技術提案書」 第3号様式

- 2 実績確認型、施工計画確認型及び技術評価型又は高度技術提案型について、それぞれ次の様式（前項に定める様式）の提出を入札参加希望者等に求めるものとする。
 - (1) 実績確認型・・・第1号様式
 - (2) 施工計画確認型・・・第1号様式、第2号様式
 - (3) 技術評価型又は高度技術提案型・・・第1号様式、第3号様式

第5 技術資料及び技術提案の評価方法

- 1 技術資料及び技術提案の評価者は、原則として、所管課において課長が定める者の中から3者を決定するものとする。
- 2 簡易な施工計画及び技術提案の評価については、評価者3者が入札参加希望者等名を伏せてそれぞれ個別に行い、3者の評価の平均をもって評点を算定（小数点以下第3位四捨五入2位止）するものとする。
- 3 前項以外の評価については、評価者3者のいずれか1者が行い、各評価項目の評点を算定（小数点以下第3位四捨五入2位止）するものとする。
 なお、評価の確認資料提出の求めは、開札後に落札候補者のみ行う。

第6 落札者決定の際の評価値

- 1 評価値の算定方法
 工事の規模(予定価格(税込))に応じて次の方法によるものとする。
 120,000千円未満・・・・・・・・・ 除算方式
 120,000千円以上400,000千円未満・・・・・・ 加算方式（1次式）
 400,000千円以上・・・・・・・・・ 加算方式（2次式）
- 2 除算方式
 標準点（100点）に加算点を加えた技術評価点を入札金額で除す除算方式により得られた値を評価値とするが、落札者決定の際には、便宜上、評価値に定数（1億）を乗じた値（小数点以下第4位四捨五入3位止）を評価値として取り扱うものとする。

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{技術評価点} / \text{入札金額} \times \text{定数} \\ &= (\text{標準点} + \text{加算点}) / \text{入札金額} \times \text{定数} \quad (\text{定数: 1億}) \end{aligned}$$
- 3 加算方式
 入札価格を点数化した価格評価点と、技術資料及び技術提案に係る加算点を加えた技術評価点を足し合わせた値を評価値（小数点以下第4位四捨五入3位止）として取り扱うものとする。
 (1)加算方式（1次式）：120,000千円以上から400,000千円未満

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{価格評価点} + \text{技術評価点(加算点)} \\ &= (100 - \text{技術評価点(満点)}) \times \{1 - (\text{入札金額} - \text{最低制限価格}) / \text{予定価格}\} + \text{技術評価点(加算点)} \end{aligned}$$

 (2)加算方式（2次式）：400,000千円以上

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{価格評価点} + \text{技術評価点(加算点)} \\ &= (100 - \text{技術評価点(満点)}) \times \{1 - (\text{入札金額} - \text{失格基準価格})^2 / (\text{予定価格} \times (\text{予定価格} - \text{失格基準価格}))\} + \text{技術評価点(加算点)} \end{aligned}$$

失格基準価格：下記①～④の合計値

- ①設計額における直接工事費の90%
- ②設計額における共通仮設費の90%
- ③設計額における現場管理費の70%
- ④設計額における一般管理費の20%

第7 評価経過等の記録様式

評価の経過及び結果等は、次の様式及び落札候補者の評価の確認資料により明らかにしておくものとする。

- (1) 「総合評価方式に関する評価調書」・・・・・・・・・・第4号様式
- (2) 「技術資料評価表」・・・・・・・・・・第5号様式
- (3) 「施工計画等(技術提案)評価集計表」・・・・・・・・・・第6号様式
- (4) 「施工計画等(技術提案)評価表」・・・・・・・・・・第7号様式
- (5) 「総合評価方式試行工事概要書」・・・・・・・・・・第8号様式
- (6) 「履行確認票」・・・・・・・・・・第9号様式

第8 技術提案等に係る設計変更

施工計画確認型における簡易な施工計画、技術評価型における技術提案の記載内容に基づく設計変更は、原則として行わないものとする。

第9 技術資料及び技術提案の履行確認

監督員は、次に掲げる事項について、請負者の技術資料及び技術提案を確認し、「履行確認票」(第9号様式)に記録しなければならない。

- (1) 配置予定技術者
- (2) 地域調達
- (3) 簡易な施工計画
- (4) 技術提案

第10 評価項目の履行確認方法

1 配置予定技術者は、監督員が工事着手届、施工計画書、施工体制台帳、資格を証明する書類の写し、同種工事に係る契約書等の写し、優秀技術者表彰等の受賞等を証明する書類の写し及び現場監督業務の中で確認を行うものとする。

なお、真にやむを得ない場合等により、配置予定技術者を変更した場合は、当該工事の技術資料の提出期限時点における変更後の技術者の能力で確認を行うものとする。

2 地域調達の履行確認は、監督員が施工計画書、工事外注計画書、下請決定通知書、施工体制台帳及び下請企業との契約書、注文書、請書及び現場監督業務の中で確認を行うものとする。

3 簡易な施工計画及び技術提案の内容の履行確認は、監督員が施工計画書及び現場監督業務の中で行うものとする。

4 前項の確認において、不履行を確認した場合は、速やかに当該工事の評価者に報告を

行うものとする。

第11 評価項目の担保（ペナルティー）の算定

配置予定技術者、地域調達、簡易な施工計画及び技術提案について、提出された技術資料及び技術提案の内容が履行できない場合の措置は、それぞれ次により算定し行うものとする。

(1) 配置予定技術者

配置予定技術者が配置できなかった場合の措置は、五泉市請負工事成績評定実施要領の考査項目「法令遵守等」にて8点の工事成績評定点の減点を行う。ただし、真にやむを得ない場合等により、配置予定技術者の評価と同等以上の技術者を配置した場合は、減点を行わない。

※8点：請負工事成績評定実施要領の考査項目「法令遵守等」の文書注意相当

(2) 地域調達

地域調達が、請負者の責により履行できなかった場合の措置は、五泉市請負工事成績評定実施要領の考査項目「法令遵守等」にて8点の工事成績評定点の減点を行う。

※8点：請負工事成績評定実施要領の考査項目「法令遵守等」の文書注意相当

(3) 簡易な施工計画

施工計画確認型にあつては、簡易な施工計画に記載された内容が、請負者の責により履行できなかった場合は、これに係る評点を0点として加算点の再計算を行い、落札時の加算点との差に応じた工事成績評定点の減点を五泉市請負工事成績評定実施要領の考査項目「法令遵守等」にて行う。

減点値 = $8 \text{点} \times (\alpha - \beta) / \alpha$ (小数点以下第1位四捨五入整数止)

α ：簡易な施工計画の当初の技術評価点（加算点）（点）

β ：簡易な施工計画の達成度合いに応じて再計算した技術評価点（加算点）（点）

※8点：請負工事成績評定実施要領の考査項目「法令遵守等」の文書注意相当

(4) 技術提案

技術評価型又は高度技術提案型にあつては、技術提案が請負者の責により履行できなかった場合で、再度の施工が困難あるいは合理的ではない場合は、工事成績評定点を減ずる措置を五泉市請負工事成績評定実施要領の考査項目「法令遵守等」にて行い、併せて違約金の請求を行うものとする。この場合、損害賠償の請求を妨げないものとする。

① 工事成績評定の減点

技術提案の達成度合いに応じた加算点の再計算を行い、提案項目の不履行として、落札時の加算点との差に応じた工事成績評定点の減点を行う。

減点値 = $8 \times (\alpha - \beta) / \alpha$ (小数点以下第1位四捨五入整数止)

α ：技術提案の当初の技術評価点（加算点）（点）

β : 技術提案の達成度合いに応じて再計算した技術評価点 (加算点) (点)

※ 8 点 : 請負工事成績評定実施要領の考査項目「法令遵守等」の文書注意相当

② 違約金の請求

技術提案の達成度合いに応じた加算点の再計算を行い、提案項目の不履行として、落札時の評価値との差に応じた金額を違約金として請求するものとする。

(ア) 除算方式を適用した工事

$$C' = \{ 1 - (100 + \beta) / (100 + \alpha) \} \times C \quad (\text{小数点以下切り捨て整数止})$$

C : 当初の契約金額 (円)

C' : 達成度合いに応じた違約金 (円)

α : 技術提案の当初の技術評価点 (加算点) (点)

β : 技術提案の達成度合いに応じて再計算した技術評価点 (加算点) (点)

(イ) 加算方式を適用した工事

$$C' = \{ 1 - Q / P \} \times C \quad (\text{小数点以下切り捨て整数止})$$

C : 当初の契約金額 (円)

C' : 達成度合いに応じた違約金 (円)

P : 当初の評価値 (点)

Q : 達成度合いに応じて再計算した評価値 (点)

第12 非落札理由の説明に関する様式

要領第19に規定する説明を求める場合は「非落札理由説明請求書」(第10号様式)を提出するものとし、その回答については「非落札理由説明請求に対する回答書」(第11号様式)により行うものとする。

付則

この運用基準は、平成25年4月1日から施行する。(平成25年3月26日制定)

別表1 総合評価方式 評価項目 (実績確認型)

(土木用)

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
------	------	------	----	----

【企業の技術力】

同種工事の実績	過去10ヶ年度(当年度含む)※の同種・類似工事の実績の有無(技術資料提出期限まで完了のもの) (実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事)	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	1.00	/ 1.00
		上記以外	0.00	
工事成績	五泉市発注工事における過去3ヶ年度間※の全工種工事成績評定点の平均点	80点以上	6.00	/ 6.00 <small>(小数点以下第3位四捨五入2位止)</small>
		70点以上 80点未満 評点=6.00×(平均点-70)÷10	6.00 ~ 0.00	
		65点以上70点未満 又は 実績なし	0.00	
		65点未満	-2.00	
優良工事表彰等	過去3ヶ年度※の五泉市優良工事表彰の有無	優良工事表彰あり	1.00	/ 1.00
		優良工事表彰なし	0.00	

【配置予定技術者の能力】

技術者の能力	主任(監理)技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士、1級建設機械施工技士、技術士(〇〇部門)又は発注者で定める資格	1.00	/ 1.00
		2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士、又は発注者で定める資格	0.50	
		その他	0.00	
同種工事の実績	過去10ヶ年度(当年度含む)※の同種・類似工事の実績の有無(技術資料提出期限まで完了のもの) (実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事)	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	1.00	/ 1.00
		上記以外	0.00	
優秀技術者表彰等	過去3ヶ年度※の五泉市優秀技術者表彰の有無	優秀技術者表彰あり	1.00	/ 1.00
		優秀技術者表彰なし	0.00	

注) ※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
【地域貢献度・精通度】				
災害時における活動実績等	・過去3ヶ年度（当年度含む）※の災害時における活動実績の有無 ・防災協定の締結の有無（五泉市内における国・県・市のもの）	活動実績あり（防災協定の締結の有無を問わない）	1.00	／ 1.00
		活動実績はないが、防災協定の締結あり	0.50	
		実績・締結なし	0.00	
維持管理実績	過去3ヶ年度（当年度含む）※の道路除雪又は維持修繕（補修）実績の有無 （道路除雪及び維持修繕（補修）の実績は、五泉市内における国・県・市のもの）	道路除雪及び維持修繕（補修）の両方の実績あり	2.00	／ 2.00
		道路除雪又は維持修繕（補修）のいずれかの実績あり	1.00	
		実績なし	0.00	
実働拠点	五泉市内における事業所の有無	市内に本社（本店）あり	3.00	／ 3.00
		市内に営業所あり	1.00	
		上記以外	0.00	
地域調達	下請負（一次・二次）における地域企業活用の有無 （対象下請負は1社当たり500万円以上のもの）	下請負（一次・二次）が市内企業 又は市内企業が下請負なし（直営施工）	2.00	／ 2.00
		上記以外	0.00	
加算点				／19.00

注）※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

別表2 総合評価方式 評価項目 (施工計画確認型)

(土木用)

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
【企業の技術力】				
同種工事の実績	過去10ヶ年度(当年度含む) ※の同種・類似工事の実績の有無(技術資料提出期限まで完了のもの) (実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事)	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	0.50	/ 0.50
		上記以外	0.00	
工事成績	五泉市発注工事における過去3ヶ年度間※の全工種工事成績評定点の平均点	80点以上	6.00	(小数点以下第3位四捨五入2位止) / 6.00
		70点以上 80点未満 評点=6.00×(平均点-70)÷10	6.00 ~ 0.00	
		65点以上70点未満 又は 実績なし	0.00	
		65点未満	-2.00	
優良工事表彰等	過去3ヶ年度※の五泉市優良工事表彰の有無	優良工事表彰あり	0.50	/ 0.50
		優良工事表彰なし	0.00	
ISO認証取得	技術資料等の提出期限現在有効なISO 9001又はISO 14001の認証取得の有無	ISO 9001 及び ISO 14001 の両方の取得あり	0.50	/ 0.50
		ISO 9001 又は ISO 14001 のいずれかの取得あり	0.25	
		取得なし	0.00	
【配置予定技術者の能力】				
技術者の能力	主任(監理)技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士、1級建設機械施工技士、技術士(〇〇部門)又は発注者で定める資格	0.50	/ 0.50
		2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士、又は発注者で定める資格	0.25	
		その他	0.00	
同種工事の実績	過去10ヶ年度(当年度含む) ※の同種・類似工事の実績の有無(技術資料提出期限まで完了のもの) (実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事)	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	0.50	/ 0.50
		上記以外	0.00	
優秀技術者表彰等	過去3ヶ年度※の五泉市優秀技術者表彰の有無	優秀技術者表彰あり	0.50	/ 0.50
		優秀技術者表彰なし	0.00	

注) ※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
------	------	------	----	----

【地域貢献度・精通度】

災害時における活動実績等	<p>・過去3ヶ年度（当年度含む）※の災害時における活動実績の有無</p> <p>・防災協定の締結の有無（五泉市内における国・県・市のもの）</p>	活動実績あり（防災協定の締結の有無を問わない）	1.00	／ 1.00
		活動実績はないが、防災協定の締結あり	0.50	
		実績・締結なし	0.00	
維持管理実績	<p>過去3ヶ年度（当年度含む）※の道路除雪又は維持修繕（補修）実績の有無</p> <p>（道路除雪及び維持修繕（補修）の実績は、五泉市内における国・県・市のもの）</p>	道路除雪及び維持修繕（補修）の両方の実績あり	2.00	／ 2.00
		道路除雪又は維持修繕（補修）のいずれかの実績あり	1.00	
		実績なし	0.00	
実働拠点	五泉市内における事業所の有無	市内に本社（本店）あり	2.00	／ 2.00
		市内に営業所あり	1.00	
		上記以外	0.00	
地域調達	<p>下請負（一次・二次）における地域企業活用の有無</p> <p>（対象下請負は1社当たり500万円以上のもの）</p>	下請負（一次・二次）が市内企業 又は市内企業が下請負なし（直営施工）	2.00	／ 2.00
		上記以外	0.00	

【簡易な施工計画】

簡易な施工計画	<p>確実な施工を確保するための施工上の配慮すべき事項について評価を行う。</p>	<p>下記2項目（項目A、項目B）について、現場及び工事特性の理解度と記述内容の妥当性により評価する。</p> <p>項目A：〇〇の〇〇管理（4.0点）</p> <p>項目B：〇〇の〇〇管理（4.0点）</p>	8.00	<p>3者で評価し、その平均点を評点とする。（小数点以下第3位四捨五入2位止）</p> <p>／ 8.00</p>
			～	
			0.00	

加算点		／24.00
-----	--	--------

注）※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

別表3 総合評価方式 評価項目 (技術評価型・高度技術提案型)

(土木用)

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
------	------	------	----	----

【企業の技術力】

同種工事の実績	過去10ヶ年度(当年度含む) ※の同種・類似工事の実績の有無(技術資料提出期限まで完了のもの) (実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事)	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	0.50	/ 0.50
		上記以外	0.00	
工事成績	五泉市発注工事における過去3ヶ年度間※の全工事成績評定点の平均点	80点以上	6.00	(小数点以下第3位四捨五入2位止) / 6.00
		70点以上 80点未満 評点=6.00×(平均点-70)÷10	6.00 ~ 0.00	
		65点以上70点未満 又は 実績なし	0.00	
		65点未満	-2.00	
優良工事表彰等	過去3ヶ年度※の五泉市優良工事表彰の有無	優良工事表彰あり	0.50	/ 0.50
		優良工事表彰なし	0.00	
ISO認証取得	技術資料等の提出期限現在有効なISO 9001又はISO 14001の認証取得の有無	ISO 9001 及び ISO 14001 の両方の取得あり	0.50	/ 0.50
		ISO 9001 又は ISO 14001 のいずれかの取得あり	0.25	
		取得なし	0.00	

【配置予定技術者の能力】

技術者の能力	主任(監理)技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士、1級建設機械施工技士、技術士(〇〇部門)又は発注者で定める資格	0.50	/ 0.50
		2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士、又は発注者で定める資格	0.25	
		その他	0.00	
同種工事の実績	過去10ヶ年度(当年度含む) ※の同種・類似工事の実績の有無(技術資料提出期限まで完了のもの) (実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事)	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	0.50	/ 0.50
		上記以外	0.00	
優秀技術者表彰等	過去3ヶ年度※の五泉市優秀技術者表彰の有無	優秀技術者表彰あり	0.50	/ 0.50
		優秀技術者表彰なし	0.00	

注) ※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
------	------	------	----	----

【地域貢献度・精通度】

災害時における活動実績等	・過去3ヶ年度（当年度含む）※の災害時における活動実績の有無 ・防災協定の締結の有無（五泉市内における国・県・市のもの）	活動実績あり（防災協定の締結の有無を問わない）	1.00	／ 1.00
		活動実績はないが、防災協定の締結あり	0.50	
		実績・締結なし	0.00	
維持管理実績	過去3ヶ年度（当年度含む）※の道路除雪又は維持修繕（補修）実績の有無（道路除雪及び維持修繕（補修）の実績は、五泉市内における国・県・市のもの）	道路除雪及び維持修繕（補修）の両方の実績あり	1.00	／ 1.00
		道路除雪又は維持修繕（補修）のいずれかの実績あり	0.50	
		実績なし	0.00	
実働拠点	五泉市内における事業所の有無	市内に本社（本店）あり	2.00	／ 2.00
		市内に営業所あり	1.00	
		上記以外	0.00	
地域調達	下請負（一次・二次）における地域企業活用の有無（対象下請負は1社当たり500万円以上のもの）	下請負（一次・二次）が市内企業又は市内企業が下請負なし（直営施工）	2.00	／ 2.00
		上記以外	0.00	

【技術提案】

技術提案	発注者が指定した設計図書等の仕様（標準案）より優れた効果・効用の提案の評価を行う	計画の具体性及び提案の効果について評価 ①提案の具体性（8.0点） ②提案の効果（8.0点）	16.00	3者で評価し、その平均点を評点とする。（小数点以下第3位四捨五入2位止） ／16.00
			0.00	
【ヒアリングを行う場合】 必要に応じて、技術提案の実現性や有効性を確認することを目的に、評価後、施工計画の記載内容についてヒアリングを行う。その場合、説明等が不十分な場合は、評点から1点を減じる。				

加算点		／31.00
-----	--	--------

注）※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

評価項目及び評価基準の細目等

1. 評価項目及び評価基準の細目

- 1) 「同種工事の実績」は、高度技術を要する工事、専門性の高い工事、特殊性を有する工事など、施工経験(実績)を有することで工物品質の向上が期待できる工種の場合に設定する。これ以外の場合は評価項目として設定しない。

(参考工種)	
・重要構造物工 (橋梁工、トンネル工、函渠、樋門・樋管、揚・排水機場等)	
・重要構造物等の補修・補強工	・基礎工
・地盤改良工	・軟弱地盤対策工
・軽量盛土工	・グラウンドアンカー工
・抑止杭工	・集水井工
・コンクリート舗装工	・下水道工 (処理場施設、ポンプ場施設、管渠工)
など	

これらについては、施工規模による細分化は行わないものとする。ただし、施工規模 (m、m²、m³、t 等) によって施工方法、使用機械、安全管理基準、品質管理基準、施工難易度等が著しく変わる場合は区分することができる。

- 2) 「同種工事の実績」の同種・類似工事の実績の対象工事は、技術資料等の提出期限日までに完了した工事とする。
- 3) 特定共同企業体の工事成績は、評価項目の「工事成績」の対象としない。
- 4) 「工事成績」の平均点は、「小数点以下第3位切り捨て2位止」として評点を判定する。また、平均点が70点以上80点未満の場合の評点は、別表の算定式により求め、「小数点以下第3位四捨五入2位止」とする。
- この他、企業再編等により施工途中で継承された工事は、継承先の工事成績として評価する。
- 5) 「配置予定技術者の能力」に係る評点は、配置予定技術者を5人まで記入できる。配置予定技術者が複数の場合、最も低い評価(これに係る評点の和が最低)となる者とする。
- 6) 「技術者の能力」における発注者で定める資格と配点は、下表などである。

下表※印が発注者で定める資格

配点	資格	配点	資格
0.50 点	1級土木施工管理技士	0.25 点	2級土木施工管理技士
	技術士		2級建設機械施工技士
	1級建設機械施工技士		2級舗装施工管理技術者※
	1級舗装施工管理技術者※		のり面施工管理技術者※

1 級造園施工管理技士※	2 級造園施工管理技士※
	地すべり防止工事技士※

なお、実績確認型については、0.50 点を 1.00 点に、0.25 点を 0.50 点にするものとする。

7) 配置予定技術者の実績における従事役職の範囲については、「主任技術者、監理技術者、現場代理人」とする。

8) 「災害時における活動実績等」の対象工事は、技術資料等の提出期限までに完了した工事とする。

活動実績の範囲は、五泉市内における以下のものをいう。(ただし、通常の維持管理の範ちゅうであると認められるものは含まない。)

○緊急性を要し指示書等で対応した活動

・災害時の応急工事、点検、パトロール等

9) 「災害時における活動実績等」の防災協定とは、五泉市内において有効な協定とする。(1 社が単独で締結している防災協定を含む。)

10) 「維持管理実績」の道路除雪実績とは、五泉市内における以下のものをいう。

○通常の道路除雪作業

11) 「維持管理実績」の維持修繕(補修)実績とは、五泉市内における以下のものをいう。(ただし、災害時における活動の範ちゅうであると認められるものは含まない。)

○工事請負請書等による日常的な維持管理活動

・道路や河川等の修繕(補修)、除草等

○指示書等による緊急的な維持管理活動

・道路や河川等の修繕(補修)等

12) 「実働拠点」とは五泉市建設工事入札参加資格者名簿に登録されている事業所をいう。

13) 「地域調達」については、一次・二次の下請負を五泉市内で調達した場合及び市内に本社(本店)を有する企業で下請け企業のない場合(直営施工)に評価の対象とする。(対象下請負は、1 社当たり 500 万円以上のものとする。)

14) 「簡易な施工計画」は、現場及び工事特性から特に確認すべき項目を次の 9 項目から 2 項目を発注者が指定するものとする。公告等には、評価項目の設定意図が分かるように記載する。

例) 周辺住宅に配慮した環境対策、出水期の安全管理など

①品質・出来形管理、②安全管理、③施工方法、④資材管理、⑤緊急時の体制及び対応、⑥交通管理、⑦環境対策、⑧現場作業管理の整備、⑨再生資源の利用促進

15) 要領で規定する「簡易な施工計画」の不適正とは、次のいずれかが認められた場合のことをいう。

配慮すべき項目とかけ離れている内容である。記載のない項目がある。白紙である。その他明らかに適正でない。

16) 「技術提案」における施工上の課題は、工事内容等から個別工事ごとに設定するものとする。

- 17) 技術提案に対する設計変更は原則行わない。
- 18) 要領で規定する「技術提案」の不適正とは、次のいずれかが認められた場合のことをいう。

技術提案が標準案より劣る。課題とかけ離れている内容である。記載のない項目がある。白紙である。その他明らかに適正でない。

- 19) 共同企業体の評価基準の細目は下表を標準とする。なお、各評価項目における共同企業体の取扱いについて、「出資比率が〇〇%以上の場合のものとする、代表構成員のものとする」等と定める。

評価項目		特定共同企業体	経常共同企業体
企業の技術力	同種工事の実績	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものである。）	当該経常共同企業体または構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものである。）
	工事成績の平均点	全構成員の工事成績評定点を対象とする。	当該経常共同企業体及び全構成員の工事成績評定点を対象とする。
	優良工事表彰等	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの受賞を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものである。）	当該経常共同企業体及び構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの受賞を対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものである。）
	I S O 認証取得	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの認証取得を対象とする。	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの認証取得を対象とする。
配置予定技術者の能力	同種工事の実績	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものである。）	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものである。）
	技術者の能力	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。

	優秀技術者表彰等	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。
地域貢献度・精通度	災害時における活動実績等	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）	当該経常共同企業体及び構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）
	維持管理実績	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）	当該経常共同企業体及び構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）
	実働拠点	入札参加資格者名簿に登録されている構成員の事業所を評価の対象とする。	入札参加資格者名簿に登録されている代表構成員の事業所を評価の対象とする。

2. 評価項目及び評価基準に係る過去の期間の考え方

- 1) 企業・配置予定技術者に係る「過去10ヶ年度（当年度含む）の同種・類似工事の実績」
 - 技術資料の提出期限の前年度から過去10ヶ年度及び今年度の4月1日から技術資料等の提出期限までに完了した工事
- 2) 工事成績等に係る「3ヶ年度間」
 - 技術資料等の提出期限の前年度から過去3ヶ年度の間
- 3) 優良工事表彰及び優秀技術者表彰に係る「3ヶ年度の表彰」
 - 技術資料等の提出期限の前年度から過去3ヶ年度の間に受賞（当年度の受賞は含まない）
- 4) 災害時における活動実績及び維持管理実績に係る「過去3ヶ年度」
 - 技術資料等の提出期限から過去3ヶ年度及び今年度の4月1日から技術資料等の提出期限までに完了したもの

3. 評価項目及び評価基準は、入札公告又は指名通知書等に明示する。

別表 1 総合評価方式 評価項目（実績確認型）

（建築・管・電気工事用）

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
【企業の技術力】				
同種工事の実績	過去10ヶ年度（当年度含む）※の同種・類似工事の実績の有無（技術資料提出期限まで完了のもの） （実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事）	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	1.00	／ 1.00
		上記以外	0.00	
工事成績	五泉市発注工事における過去5ヶ年度間※の建築・管・電気工事成績評定点の平均点	80点以上	6.00	（小数点以下第3位四捨五入2位止） ／ 6.00
		70点以上 80点未満 評点=6.00×(平均点-70)／10	6.00 ～ 0.00	
		65点以上70点未満 又は 実績なし	0.00	
		65点未満	-2.00	
優良工事表彰等	過去5ヶ年度※の建築・管・電気工事における五泉市優良工事表彰の有無	優良工事表彰あり	1.00	／ 1.00
		優良工事表彰なし	0.00	
【配置予定技術者の能力】				
技術者の能力	主任（監理）技術者の保有する資格	建築工事：1級建築士 又は 1級建築施工管理技士 管工事：1級管工事施工管理技士 又は 技術士（上下水道部門、衛生工学部門又は機械部門（ただし「流体機械」又は「暖冷房及び冷凍機械」を選択した者に限る）に合格した者） 電気工事：1級電気工事施工管理技士 又は 技術士（電気電子部門に合格した者）	1.00	／ 1.00
		建築工事：2級建築士 又は 2級建築施工管理技士 管工事：2級管工事施工管理技士 電気工事：2級電気工事施工管理技士	0.50	
		その他	0.00	
同種工事の実績	過去10ヶ年度（当年度含む）※の同種・類似工事の実績の有無（技術資料提出期限まで完了のもの） （実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事）	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	1.00	／ 1.00
		上記以外	0.00	
優秀技術者表彰等	過去5ヶ年度※の建築・管・電気工事における五泉市優秀技術者表彰の有無	優秀技術者表彰あり	1.00	／ 1.00
		優秀技術者表彰なし	0.00	

注）※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
------	------	------	----	----

【地域貢献度・精通度】

災害時における活動実績等	・過去3ヶ年度（当年度含む） ※の災害時における活動実績の有無 ・防災協定の締結の有無 （五泉市内における、国・県・市のもの）	活動実績あり（防災協定の締結の有無を問わない）	1.00	／ 1.00
		活動実績はないが、防災協定の締結あり	0.50	
		実績・締結なし	0.00	
維持管理実績	公共建築物の過去3ヶ年度（当年度含む）※の修繕（補修）実績の有無 （五泉市内における国・県・市のもの）	緊急時における修繕（補修）実績あり	2.00	／ 2.00
		維持修繕（補修）実績あり	1.00	
		実績なし	0.00	
実働拠点	五泉市内における事業所の有無	市内に本社（本店）あり	3.00	／ 3.00
		市内に営業所あり	1.50	
		上記以外	0.00	
地域調達	下請負（一次・二次）における地域企業活用の有無 （対象下請負は1社当たり500万円以上のもの）	下請負（一次・二次）が市内企業 又は市内企業が下請負なし（直営施工）	2.00	／ 2.00
		上記以外	0.00	

注）※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

加算点		／19.00
-----	--	--------

別表2 総合評価方式 評価項目（施工計画確認型）

（建築・管・電気工事用）

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
【企業の技術力】				
同種工事の実績	過去10ヶ年度（当年度含む）※の同種・類似工事の実績の有無（技術資料提出期限まで完了のもの） （実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事以外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事）	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	0.50	／ 0.50
		上記以外	0.00	
工事成績	五泉市発注工事における過去5ヶ年度間※の建築・管・電気工事成績評定点の平均点	80点以上	6.00	（小数点以下第3位四捨五入2位止） ／ 6.00
		70点以上 80点未満 評点=6.00×（平均点-70）／10	6.00 ～ 0.00	
		65点以上70点未満 又は 実績なし	0.00	
		65点未満	-2.00	
優良工事表彰等	過去5ヶ年度※の建築・管・電気工事における五泉市優良工事表彰の有無	優良工事表彰あり	0.50	／ 0.50
		優良工事表彰なし	0.00	
ISO認証取得	技術資料等の提出期限現在有効なISO 9001又はISO 14001の認証取得の有無	ISO 9001 及び ISO 14001 の両方の取得あり	0.50	／ 0.50
		ISO 9001 又は ISO 14001 のいずれかの取得あり	0.25	
		取得なし	0.00	
【配置予定技術者の能力】				
技術者の能力	主任（監理）技術者の保有する資格	建築工事：1級建築士 又は 1級建築施工管理技士 管工事：1級管工事施工管理技士 又は 技術士（上下水道部門、衛生工学部門又は機械部門（ただし「流体機械」又は「暖冷房及び冷凍機械」を選択した者に限る）に合格した者） 電気工事：1級電気工事施工管理技士 又は 技術士（電気電子部門に合格した者）	0.50	／ 0.50
		建築工事：2級建築士 又は 2級建築施工管理技士 管工事：2級管工事施工管理技士 電気工事：2級電気工事施工管理技士	0.25	
		その他	0.00	
同種工事の実績	過去10ヶ年度（当年度含む）※の同種・類似工事の実績の有無（技術資料提出期限まで完了のもの） （実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事以外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事）	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	0.50	／ 0.50
		上記以外	0.00	
優秀技術者表彰等	過去5ヶ年度※の建築・管・電気工事における五泉市優秀技術者表彰の有無	優秀技術者表彰あり	0.50	／ 0.50
		優秀技術者表彰なし	0.00	

注）※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
------	------	------	----	----

【地域貢献度・精通度】

災害時における活動実績等	・過去3ヶ年度（当年度含む）※の災害時における活動実績の有無 ・防災協定の締結の有無（五泉市内における、国・県・市のもの）	活動実績あり（防災協定の締結の有無を問わない）	1.00	／ 1.00
		活動実績はないが、防災協定の締結あり	0.50	
		実績・締結なし	0.00	
維持管理実績	公共建築物の過去3ヶ年度（当年度含む）※の修繕（補修）実績の有無（五泉市内における国・県・市のもの）	緊急時における修繕（補修）実績あり	2.00	／ 2.00
		維持修繕（補修）実績あり	1.00	
		実績なし	0.00	
実働拠点	五泉市内における事業所の有無	市内に本社（本店）あり	2.00	／ 2.00
		市内に営業所あり	1.00	
		上記以外	0.00	
地域調達	下請負（一次・二次）における地域企業活用の有無（対象下請負は1社当たり500万円以上のも）	下請負（一次・二次）が市内企業又は市内企業が下請負なし（直営施工）	2.00	／ 2.00
		上記以外	0.00	

【簡易な施工計画】

簡易な施工計画	確実な施工を確保するための施工上の配慮すべき事項について評価を行う。	下記2項目（項目A、項目B）について、現場及び工事特性の理解度と記述内容の妥当性により評価する。 項目A：〇〇の〇〇管理（4.0点） 項目B：〇〇の〇〇管理（4.0点）	8.00	3者で評価し、その平均点を評点とする。（小数点以下第3位四捨五入2位止） ／ 8.00
			～	
			～	
			0.00	

注）※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

加算点		／24.00
-----	--	--------

別表3 総合評価方式 評価項目（技術評価型・高度技術提案型）（建築・管・電気工事用）

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
【企業の技術力】				
同種工事の実績	過去10ヶ年度（当年度含む）※の同種・類似工事の実績の有無（技術資料提出期限まで完了のもの） （実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事）	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	0.50	／ 0.50
		上記以外	0.00	
工事成績	五泉市発注工事における過去5ヶ年度間※の建築・管・電気工事成績評定点の平均点	80点以上	6.00	（小数点以下第3位四捨五入2位止） ／ 6.00
		70点以上 80点未満 評点=6.00×(平均点-70)／10	6.00 ～ 0.00	
		65点以上70点未満 又は 実績なし	0.00	
		65点未満	-2.00	
優良工事表彰等	過去5ヶ年度※の建築・管・電気工事における五泉市優良工事表彰の有無	優良工事表彰あり	0.50	／ 0.50
		優良工事表彰なし	0.00	
ISO認証取得	技術資料等の提出期限現在有効なISO 9001又はISO 14001の認証取得の有無	ISO 9001 及び ISO 14001 の両方の取得あり	0.50	／ 0.50
		ISO 9001 又は ISO 14001 のいずれかの取得あり	0.25	
		取得なし	0.00	
【配置予定技術者の能力】				
技術者の能力	主任（監理）技術者の保有する資格	建築工事：1級建築士 又は 1級建築施工管理技士 管工事：1級管工事施工管理技士 又は 技術士（上下水道部門、衛生工学部門又は機械部門（ただし「流体機械」又は「暖冷房及び冷凍機械」を選択した者に限る）に合格した者） 電気工事：1級電気工事施工管理技士 又は 技術士（電気電子部門に合格した者）	0.50	／ 0.50
		建築工事：2級建築士 又は 2級建築施工管理技士 管工事：2級管工事施工管理技士 電気工事：2級電気工事施工管理技士	0.25	
		その他	0.00	
同種工事の実績	過去10ヶ年度（当年度含む）※の同種・類似工事の実績の有無（技術資料提出期限まで完了のもの） （実績は、国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事で県外での実績を含む請負金額が500万円以上の工事）	国・旧公団・都道府県・市町村の発注工事の実績あり	0.50	／ 0.50
		上記以外	0.00	
優秀技術者表彰等	過去5ヶ年度※の建築・管・電気工事における五泉市優秀技術者表彰の有無	優秀技術者表彰あり	0.50	／ 0.50
		優秀技術者表彰なし	0.00	

注）※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

評価項目	評価内容	評価基準	配点	評点
------	------	------	----	----

【地域貢献度・精通度】

災害時における活動実績等	・過去3ヶ年度（当年度含む） ※の災害時における活動実績の有無 ・防災協定の締結の有無 （五泉市内における、国・県・市のもの）	活動実績あり（防災協定の締結の有無を問わない）	1.00	／ 1.00
		活動実績はないが、防災協定の締結あり	0.50	
		実績・締結なし	0.00	
維持管理実績	公共建築物の過去3ヶ年度（当年度含む）※の修繕（補修）実績の有無 （五泉市内における国・県・市のもの）	緊急時における修繕（補修）実績あり	1.00	／ 1.00
		維持修繕（補修）実績あり	0.50	
		実績なし	0.00	
実働拠点	五泉市内における事業所の有無	市内に本社（本店）あり	2.00	／ 2.00
		市内に営業所あり	1.00	
		上記以外	0.00	
地域調達	下請負（一次・二次）における地域企業活用の有無 （対象下請負は1社当たり500万円以上のもの）	下請負（一次・二次）が市内企業又は市内企業が下請負なし（直営施工）	2.00	／ 2.00
		上記以外	0.00	

【技術提案】

技術提案	発注者が指定した設計図書等の仕様（標準案）より優れた効果・効用の提案の評価を行う	計画の具体性及び提案の効果について評価 ①提案の具体性 8点満点 ②提案の効果 8点満点	16.00	3者で評価し、その平均点を評点とする。 ／16.00
			～	
			0.00	
【ヒアリングを行う場合】 必要に応じて、技術提案の実現性や有効性を確認することを目的に、評価後、施工計画の記載内容についてヒアリングを行う。その場合、説明等が不十分な場合は、評点から1点を減じる。				

注）※印の過去期間の考え方は、評価項目及び評価基準の考え方参照

加算点		／31.00
-----	--	--------

評価項目及び評価基準の細目等

1. 評価項目及び評価基準の細目

- 1) 「同種工事の実績」は、高度技術を要する工事、専門性の高い工事、特殊性を有する工事など、施工経験(実績)を有することで工物品質の向上が期待できる工種の場合に設定する。これ以外の場合は評価項目として設定しない。
- 2) 「同種工事の実績」の同種・類似工事の実績の対象工事は、技術資料等の提出期限日までに完了した工事とする。
- 3) 特定共同企業体の工事成績は、評価項目の「工事成績」の対象としない。
- 4) 「工事成績」の平均点は、「小数点以下第3位切り捨て2位止」として評点を判定する。また、平均点が70点以上80点未満の場合の評点は、別表の算定式により求め、「小数点以下第3位四捨五入2位止」とする。

この他、企業再編等により施工途中で継承された工事は、継承先の工事成績として評価する。

- 5) 「配置予定技術者の能力」に係る評点は、配置予定技術者を5人まで記入できる。配置予定技術者が複数の場合、最も低い評価(これに係る評点の和が最低)となる者とする。
- 6) 配置予定技術者の実績における従事役職の範囲については、「主任技術者、監理技術者、現場代理人」とする。
- 7) 「災害時における活動実績等」の対象工事は、技術資料等の提出期限までに完了した工事とする。

活動実績の範囲は、五泉市内における以下のとおりとする。(ただし、通常の維持管理の範ちゅうであると認められるものは含まない。)

○緊急性を要し指示書等で対応した活動

- ・災害発生直後の点検、被害状況調査
(公共施設等の点検、被害状況調査など)

・災害発生直後の応急工事

(公共施設等の応急復旧工事、応急仮設住宅の建設など)

- 8) 「災害時における活動実績等」の防災協定とは、五泉市内において有効な協定とする。(1社が単独で締結している防災協定を含む。)
- 9) 「維持管理実績」の修繕(補修)実績とは、五泉市内における以下のものをいう。(ただし、災害時における活動の範ちゅうであると認められるものは含まない。)

○緊急時における修繕(補修)実績

- ・漏水や設備故障等の緊急時における修繕(補修)で、指示書等で対応した活動

○維持修繕(補修)実績

- ・維持管理のために行う修繕(補修)等の活動

- 10) 「実働拠点」とは五泉市建設工事入札参加資格者名簿に登録されている事業所をい

う。

11) 「地域調達」については、一次・二次下請負を五泉市内で調達した場合及び市内に本社（本店）を有する企業で下請け企業のない場合（直営施工）に評価の対象とする。（対象下請負は、1社当たり500万円以上のものとする。）

12) 「簡易な施工計画」は、現場及び工事特性から特に確認すべき項目を次の9項目から2項目を発注者が指定するものとする。公告等には、評価項目の設定意図が分かるように記載する。

（例 周辺住宅に配慮した環境対策、出水期の安全管理など）

①品質・出来形管理、②安全管理、③施工方法、④資材管理、⑤緊急時の体制及び対応、⑥交通管理、⑦環境対策、⑧現場作業管理の整備、⑨再生資源の利用促進

13) 要領で規定する「簡易な施工計画」の不適正とは、次のいずれかが認められた場合のことをいう。

配慮すべき項目とかけ離れている内容である。記載のない項目がある。白紙である。その他明らかに適正でない。

14) 「技術提案」における施工上の課題は、工事内容等から個別工事ごとに設定するものとする。

15) 技術提案に対する設計変更は原則行わない。

16) 要領で規定する「技術提案」の不適正とは、次のいずれかが認められた場合のことをいう。

技術提案が標準案より劣る。課題とかけ離れている内容である。記載のない項目がある。白紙である。その他明らかに適正でない。

17) 共同企業体の評価基準の細目は下表を標準とする。なお、各評価項目における共同企業体の取扱いについて、「出資比率が〇〇%以上の場合のものとする、代表構成員のものとする」等と定める。

評価項目		特定共同企業体	経常共同企業体
企業の技術力	同種工事の実績	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）	当該経常共同企業体または構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）
	工事成績の平均点	全構成員の工事成績評定点を対象とする。	当該経常共同企業体及び全構成員の工事成績評定点を対象とする。

	優良工事表彰等	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの受賞を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）	当該経常共同企業体及び構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの受賞を対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）
	I S O 認証取得	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの認証取得を対象とする。	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの認証取得を対象とする。
配置予定技術者の能力	同種工事の実績	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）
	技術者の能力	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。	代表構成員の配置予定技術者を対象とする。
	優秀技術者表彰等		
地域貢献度・精通度	災害時における活動実績等	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。 （過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）	当該経常共同企業体及び構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）
	維持管理実績	構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）	当該経常共同企業体及び構成員（出資比率が〇〇%以上）のいずれかの実績を対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は出資比率が〇〇%以上のものとする。）
	実働拠点	入札資格参加者名簿に登録されている構成員の事業所を評価の対象とする。	入札資格参加者名簿に登録されている代表構成員の事業所を評価の対象とする。

2. 評価項目及び評価基準に係る過去の期間の考え方

1) 企業・配置予定技術者に係る「過去10ヶ年度（当年度含む）の同種・類似工事の実績」

→ 技術資料の提出期限の前年度から過去10ヶ年度及び今年度の4月1日から技術資料等の提出期限までに完了した工事

2) 工事成績等に係る「5ヶ年度間」

→ 技術資料等の提出期限の前年度から過去5ヶ年度の間

3) 優良工事表彰及び優秀技術者表彰に係る「5ヶ年度の表彰」

→ 技術資料等の提出期限の前年度から過去5ヶ年度の間に受賞（当年度の受賞は含まない）

4) 災害時における活動実績及び維持管理実績に係る「過去3ヶ年度」

→ 技術資料等の提出期限から過去3ヶ年度及び今年度の4月1日から技術資料等の提出期限までに完了したもの

3. 評価項目及び評価基準は、入札公告又は指名通知書等に明示する。

第1号様式 実績確認型用

工事名：

文字等を入力

▼ の中のリストを選択

企業の技術力・地域性確認資料

会社名	【企業の同種工事の実績】 評点(自己評価)	【優良工事表彰等】 評点(自己評価)	【災害時における活動実績等】 評点(自己評価)	【維持管理実績】 評点(自己評価)	【実働拠点】 評点(自己評価)	【地域調達】 評点(自己評価)
	点	点	点	点	点	点
工事名		五泉市優良工事表彰		災害時における活動実績	道路除雪実績	事業所の所在地 下請負 (一次・二次)
入札整理番号	発注者の名称			防災協定の締結	維持修繕(補修)実績	
00-0000						
	工期					
	工事概要					

※下請負500万円以上が対象

※実績は500万円以上の工事

配置予定技術者の能力確認資料

○技術者1

フリガナ 氏名	【技術者の能力】 評点(自己評価)	【優秀技術者表彰等】 評点(自己評価)	【配置予定技術者の同種工事の実績】 評点(自己評価)	従事役職	配置予定技術者の評点計 0.00点
	点	点	点	従事期間	
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰	工事名		
所属会社名	法定資格等の取得年		発注者の名称	工事概要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号		工期		

○技術者2

フリガナ 氏名	【技術者の能力】 評点(自己評価)	【優秀技術者表彰等】 評点(自己評価)	【配置予定技術者の同種工事の実績】 評点(自己評価)	従事役職	配置予定技術者の評点計 0.00点
	点	点	点	従事期間	
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰	工事名		
所属会社名	法定資格等の取得年		発注者の名称	工事概要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号		工期		

- 注) ・評点は自己申告とする。
 ・配置予定技術者を5人まで記入できる。
 ・配置予定技術者の評点は、低い評価(評点計が最低)となる者の評点とする。
 ・入札終了後に落札候補者は、評点の内容を証明する書類を提出しなければならない。

会 社 名

配置予定技術者の能力確認資料

○技術者3		【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】	【配置予定技術者の同種工事の実績】	配置予定技術者の評点計
フリガナ 氏 名	評 点(自己評価) 点	評 点(自己評価) 点		評 点(自己評価) 点	0.00 点
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工 事 名	
				従事期間	
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	
				工 事 概 要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工 期	

○技術者4		【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】	【配置予定技術者の同種工事の実績】	配置予定技術者の評点計
フリガナ 氏 名	評 点(自己評価) 点	評 点(自己評価) 点		評 点(自己評価) 点	0.00 点
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工 事 名	
				従事期間	
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	
				工 事 概 要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工 期	

○技術者5		【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】	【配置予定技術者の同種工事の実績】	配置予定技術者の評点計
フリガナ 氏 名	評 点(自己評価) 点	評 点(自己評価) 点		評 点(自己評価) 点	0.00 点
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工 事 名	
				従事期間	
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	
				工 事 概 要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工 期	

- 注) ・評点は自己申告とする。
 ・配置予定技術者を5人まで記入できる。
 ・配置予定技術者の評点は、低い評価(評点計が最低)となる者の評点とする。
 ・入札終了後に落札候補者は、評点の内容を証明する書類を提出しなければならない。

第1号様式 施工計画確認型用

工事名：

文字等を入力

▼ の中のリストを選択

企業の技術力・地域性確認資料

会社名	【企業の同種工事の実績】	【優良工事表彰等】	【ISO認証取得】	【災害時における活動実績等】	【維持管理実績】	【実働拠点】	【地域調達】
	評点(自己評価) 点	評点(自己評価) 点	評点(自己評価) 点	評点(自己評価) 点	評点(自己評価) 点	評点(自己評価) 点	評点(自己評価) 点
	工事名	五泉市優良工事表彰	ISO 9001の認証取得の有無	災害時における活動実績	道路除雪実績	事業所の所在地	下請負 (一次・二次)
入札整理番号	発注者の名称		ISO 14001の認証取得の有無	防災協定の締結	維持修繕(補修)実績		
00-0000							
	工期						
	工事概要						

※下請負500万円以上が対象

※実績は500万円以上の工事

配置予定技術者の能力確認資料

○技術者1

フリガナ 氏名	【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】		【配置予定技術者の同種工事の実績】	従事役職	配置予定技術者の評点計 0.00点
	評点(自己評価) 点	評点(自己評価) 点		評点(自己評価) 点		
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工事名		
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	工事概要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工期		

○技術者2

フリガナ 氏名	【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】		【配置予定技術者の同種工事の実績】	従事役職	配置予定技術者の評点計 0.00点
	評点(自己評価) 点	評点(自己評価) 点		評点(自己評価) 点		
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工事名		
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	工事概要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工期		

- 注) ・評点は自己申告とする。
 ・配置予定技術者を5人まで記入できる。
 ・配置予定技術者の評点は、低い評価(評点計が最低)となる者の評点とする。
 ・入札終了後に落札候補者は、評点の内容を証明する書類を提出しなければならない。

会 社 名

配置予定技術者の能力確認資料

○技術者3		【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】	【配置予定技術者の同種工事の実績】	配置予定技術者の評点計
フリガナ 氏 名	評 点(自己評価) 点	評 点(自己評価) 点		評 点(自己評価) 点	0.00 点
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工 事 名	
				従事期間	
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	
				工 事 概 要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工 期	

○技術者4		【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】	【配置予定技術者の同種工事の実績】	配置予定技術者の評点計
フリガナ 氏 名	評 点(自己評価) 点	評 点(自己評価) 点		評 点(自己評価) 点	0.00 点
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工 事 名	
				従事期間	
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	
				工 事 概 要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工 期	

○技術者5		【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】	【配置予定技術者の同種工事の実績】	配置予定技術者の評点計
フリガナ 氏 名	評 点(自己評価) 点	評 点(自己評価) 点		評 点(自己評価) 点	0.00 点
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工 事 名	
				従事期間	
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	
				工 事 概 要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工 期	

- 注) ・評点は自己申告とする。
 ・配置予定技術者を5人まで記入できる。
 ・配置予定技術者の評点は、低い評価(評点計が最低)となる者の評点とする。
 ・入札終了後に落札候補者は、評点の内容を証明する書類を提出しなければならない。

第1号様式 技術評価型・高度技術提案型用

工事名：

文字等を入力

▼ の中のリストを選択

企業の技術力・地域性確認資料

会社名	【企業の同種工事の実績】 評点(自己評価)	【優良工事表彰等】 評点(自己評価)	【ISO認証取得】 評点(自己評価)	【災害時における活動実績等】 評点(自己評価)	【維持管理実績】 評点(自己評価)	【実働拠点】 評点(自己評価)	【地域調達】 評点(自己評価)
	点	点	点	点	点	点	点
	工事名	五泉市優良工事表彰	ISO 9001の認証取得の有無	災害時における活動実績	道路除雪実績	事業所の所在地	下請負 (一次・二次)
入札整理番号	発注者の名称		ISO 14001の認証取得の有無	防災協定の締結	維持修繕(補修)実績		
00-0000							
	工期						
	工事概要						

※下請負500万円以上が対象

※実績は500万円以上の工事

配置予定技術者の能力確認資料

○技術者1

フリガナ 氏名	【技術者の能力】 評点(自己評価)	【優秀技術者表彰等】 評点(自己評価)	【配置予定技術者の同種工事の実績】 評点(自己評価)	従事役職	配置予定技術者の評点計 0.00点
	点	点	点	従事期間	
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰	工事名		
所属会社名	法定資格等の取得年		発注者の名称	工事概要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号		工期		

○技術者2

フリガナ 氏名	【技術者の能力】 評点(自己評価)	【優秀技術者表彰等】 評点(自己評価)	【配置予定技術者の同種工事の実績】 評点(自己評価)	従事役職	配置予定技術者の評点計 0.00点
	点	点	点	従事期間	
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰	工事名		
所属会社名	法定資格等の取得年		発注者の名称	工事概要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号		工期		

- 注) ・評点は自己申告とする。
 ・配置予定技術者を5人まで記入できる。
 ・配置予定技術者の評点は、低い評価(評点計が最低)となる者の評点とする。
 ・入札終了後に落札候補者は、評点の内容を証明する書類を提出しなければならない。

会 社 名

配置予定技術者の能力確認資料

○技術者3		【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】	【配置予定技術者の同種工事の実績】		配置予定技術者の評点計 0.00 点
フリガナ 氏 名	評 点(自己評価) 点	評 点(自己評価) 点		評 点(自己評価) 点	従事役職	
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工 事 名	従事期間	
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	工 事 概 要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工 期		

○技術者4		【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】	【配置予定技術者の同種工事の実績】		配置予定技術者の評点計 0.00 点
フリガナ 氏 名	評 点(自己評価) 点	評 点(自己評価) 点		評 点(自己評価) 点	従事役職	
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工 事 名	従事期間	
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	工 事 概 要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工 期		

○技術者5		【技術者の能力】	【優秀技術者表彰等】	【配置予定技術者の同種工事の実績】		配置予定技術者の評点計 0.00 点
フリガナ 氏 名	評 点(自己評価) 点	評 点(自己評価) 点		評 点(自己評価) 点	従事役職	
	法定資格等の種類	五泉市優秀技術者表彰		工 事 名	従事期間	
所属会社名	法定資格等の取得年			発注者の名称	工 事 概 要	
雇用関係開始年月日	法定資格等の登録番号			工 期		

- 注) ・評点は自己申告とする。
 ・配置予定技術者を5人まで記入できる。
 ・配置予定技術者の評点は、低い評価(評点計が最低)となる者の評点とする。
 ・入札終了後に落札候補者は、評点の内容を証明する書類を提出しなければならない。

第2号様式

簡易な施工計画

工事名：

会社名：

現場および工事特性を踏まえた施工上の配慮すべき事項を**各項目●事項**記述してください。

項目 A	〇〇の△△管理
1 ...	<p>4 事項とわかるよう 1・・・、2・・・、3・・・、4・・・、と 記入してください。 ↑ 記入時は削除</p>
2 ...	
3 ...	
4 ...	

項目 B	□□の××管理
1 ...	
2 ...	
3 ...	
4 ...	

注1) 文字フォントは10ポイント以上とし、図表等も含めて枠内におさめるようにしてください。

注2) 文字数と行数の設定は1項目あたり40文字×15行としていますので、行間隔や罫線枠等、書式の変更はしないでください。

第3号様式(1/2枚目)

技 術 提 案 書

工事名：

会社名：

施工上の課題	
--------	--

施工上の課題1つあたり、A4版●枚かつ○提案記述してください。

課題に係る技術提案内容 (1/2)	
1	
2	
3	
4	
5	

注1) 文字フォントは10ポイント以上とし、図表等も含めて枠内におさめるようにしてください。
注2) 行間隔や罫線枠等、書式の変更はしないでください。

第3号様式(2/2枚目)

技 術 提 案 書

工事名：

会社名：

課題に係る技術提案内容 (2/2)

- 注1) 文字フォントは10ポイント以上とし、図表等も含めて枠内におさめるようにしてください。
注2) 行間隔や罫線枠等、書式の変更はしないでください。

第7号様式

施工計画等評価表（施工計画確認型）

工事名				
評価者				
記号	確認項目と配点			
	項目A	項目B	・簡易な施工計画に不適正があった場合の理由 ・実施により品質の低下を招く恐れがある記載等があるか。	
A社	点	点		
B社	点	点		
C社	点	点		
D社	点	点		
E社	点	点		
F社	点	点		
G社	点	点		
H社	点	点		
I社	点	点		
J社	点	点		
K社	点	点		
L社	点	点		
M社	点	点		
N社	点	点		
O社	点	点		

第7号様式

技術提案評価表（技術評価型・高度技術提案型）

工事名				
評価者				
記号	確認項目と配点			
	計画の具体性	提案の効果	・技術提案に不適正があった場合の理由 ・実施により品質の低下を招く恐れがある記載等があるか。	
A社	点	点		
B社	点	点		
C社	点	点		
D社	点	点		
E社	点	点		
F社	点	点		
G社	点	点		
H社	点	点		
I社	点	点		
J社	点	点		
K社	点	点		
L社	点	点		
M社	点	点		
N社	点	点		
O社	点	点		

第8号様式

総合評価方式試行工事概要書（施工計画確認型）

工事名			発注機関名	
			担当課名	
工事概要			工事場所	
			工事概算金額	円
工事種類			入札方式	
予定工期	平成 年 月上旬～平成 年 月下旬（ 日間）		※繰越見込がある場合	変更する場合の工期 日間
評価項目や評価基準の要点（現場及び工事特性を踏まえた施工上の配慮すべき事項、設定した理由、確認ポイント及び評価基準について記載）				
■ 現場及び工事特性を踏まえた施工上の配慮すべき事項				
項目A（公告等に記載する内容）		選択項目	項目B（公告等に記載する内容）	
■ 設定理由、評価ポイント				
項目A		項目B		
設定理由		設定理由		
評価ポイント		評価ポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・上記のほか、提出された記述が、確認する項目の内容や意図に合致していれば評価する 		<ul style="list-style-type: none"> ・上記のほか、提出された記述が、確認する項目の内容や意図に合致していれば評価する 		
■ 評価基準、配点（各項目4.0点×2＝合計8.0点）				

第8号様式

総合評価方式試行工事概要書（技術評価型・高度技術提案型）

工事名		発注機関名	
		担当課名	
工事概要		工事場所	
		工事概算金額	円
		入札方式	
工事種類			
予定工期	平成 年 月上旬～平成 年 月下旬（〇〇〇日間）	（繰越が見込まれる場合）	変更する場合の工期 日間
評価項目や評価基準の要点（技術評価型における施工上の課題、設定した理由及び評価基準について記載）			
■ 施工上の課題			
■ 設定理由、評価ポイント			
■ 評価基準、配点（合計16.0点）			

履 行 確 認 票

工事番号		施工地	
工事名		請負者	

契約時の評価【評価者が入力】

評者名									
評価項目	配置予定技術者の能力					合計	地域貢献度・精通度		簡易な施工計画または技術提案
	配置予定技術者名	技術者の能力	同種工事の実績	優秀技術者表彰等				地域調達	
評点(点)	/					0.00			
内容									別添資料のとおり

評価内容の履行確認【監督員が入力】

監督員名						最終確認日(作成日)	平成 年 月 日		
評価項目	配置予定技術者の能力					合計	地域貢献度・精通度		簡易な施工計画または技術提案
	配置予定技術者名	技術者の能力	同種工事の実績	優秀技術者表彰等				地域調達	
評点(点)	/					0.00			
履行確認 (着手時技術者)						/			
履行確認結果	履行								
評点(点)	/					0.00			
履行確認 (技術者変更1)						/			
履行確認結果	履行								
評点(点)	/					0.00			
履行確認 (技術者変更2)						/			
履行確認結果	履行								

入力項目

注意: この様式は検査調書とともに綴り、保管すること。

(不履行があった場合に記録する。)

1. 評価項目不履行時の減点算出

評価項目	不履行該当	減点
配置予定技術者の能力		点
地域調達		点
計		0点・・・①

2. 簡易な施工計画の不履行時の減点算出

①簡易な施工計画の当初の技術評価点(加算点): α		点
②簡易な施工計画の達成度合いに応じて再計算した技術評価点(加算点): β		点
③減点値(点) $=8点 \times (\alpha - \beta) / \alpha$ (小数点以下第1位四捨五入)	0	点・・・②

3. 技術提案の不履行時の減点算出

①技術提案の当初の技術評価点(加算点): α		点
②技術提案の達成度合いに応じて再計算した技術評価点(加算点): β		点
③減点値(点) $=8点 \times (\alpha - \beta) / \alpha$ (小数点以下第1位四捨五入)	0	点・・・③

4. 総合評価不履行時の減点算出(合計)(①+②+③)

0	点
---	---

5. 技術提案の不履行時の違約金算出

A 除算方式を適用した工事

①当初の契約金額(円): C		円
②当初の技術評価点(加算点): α		点
③達成度合いに応じて再計算した技術評価点(加算点): β		点
④達成度合いに応じた違約金(円): $C' = \{1 - (100 + \beta) / (100 + \alpha)\} \times C$		円

B 加算方式(1次、2次)を適用した工事

①当初の契約金額(円): C		円
②当初の評価値: P		点
③達成度合いに応じて再計算した評価値: Q		点
④達成度合いに応じた違約金(円): $C' = (1 - Q/P) \times C$		円

第10号様式

非落札理由説明請求書

平成 年 月 日

五泉市長 様

請求者の住所
代表者

五泉市総合評価方式試行要領第19第1項の規定により、下記のとおり入札結果に疑義がありますので非落札理由の説明を請求します。

記

- 1 対象入札案件名
- 2 疑義内容

第 1 1 号様式

第 号
平成 年 月 日

請求者の住 所
代表者 様

五泉市長

非落札理由説明請求に対する回答書

平成 年 月 付けで貴職より請求のあった件について、五泉市総合
評価方式試行要領第 19 第 2 項の規定により下記のとおり回答します。

記

- 1 対象入札案件名
- 2 疑義内容に対する回答